

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1216		
科目名	自主創造の基礎 2		
担当教員	河合 一武		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	金 5		
講義室	オンライン	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	リテラシー		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP2-A [日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢] 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。</p> <p>DP2-B [自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢] 自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。</p> <p>DP4-F [探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP5-J [創造的挑戦力・達成力] コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。</p> <p>DP7-C [他者理解・倫理観・公共心] 人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。</p> <p>DP7-L [協働力・牽引力] 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。</p> <p>DP8-M [省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連</p> <p>A1 グローバル感覚 (10%)  B1 自己啓発 (20%)  C1 倫理的思考・社会認識 (10%)  F1 探求と論拠 (5%)  F2 課題解決 (5%)  I1 理解読解 (5%)  I3 情報分析 (5%)  J2 創造的思考 (10%)  L1 チームワーク (20%)  M1 統合的・応用的学修 (10%)</p>		
教員の実務経験	<p>本科目では担当教員に加え、外部講師の方々にもご登壇いただきます。例えば、有名アスリートや日本大学の歴史に対して造詣深い専門家といった社会の第一線で活躍されている講師をお迎えし、日本大学スポーツ科学部の学生が求められる基本的知識、振舞い方、生きて行くため</p>		

	に必要な心構え、さらにスポーツ科学領域で活用出来るといった事柄に対して、講師の方々の知見と経験を活かした講義を行います。						
成績ターゲット区分	■成績ターゲット能力開発の目標ステージとの対応 2進期～3発展期						
科目概要・キーワード	社会問題に関する議論や発表を交えながら、社会とのつながりを意識させるため外部有識者や専門家との交流も取り入れ、自分の研究や学びが社会にどのように結びついているか、どのような社会貢献につながるかを意識させていきます。さらには個人研究を確立するための、研究方法、調査方法について学ぶことにより、2年次での専門科目での学びに対する自主性、創造性を高める授業（演習）を行います。授業形態はライブ形式<第1回、第15回>またはオンデマンド形式<第2回～第14回>により行います。 ■キーワード：大学で学ぶ・反省的实践・キャリアデザイン						
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学における反省的实践の基礎を学ぶ ■授業の目的 自ら学び、考え、道を開く人間に求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身に付ける。具体的には、競技スポーツに関わる諸問題や課題を発見し、それに対する多面的な情報収集・分析を通して、省察・行動・解決していくことができる反省的实践力を養うことや、大学以降のキャリアをデザインし、社会人としての技能・態度を身に付けることを目的としています。 ■授業のポイント 本授業では、スポーツ科学部生が修得すべきマインドや能力を踏まえ、競技スポーツにおける反省的实践家としての基礎的能力開発を行います。例えば、目標設定スキル、PDCAサイクルの立案・実践、問題設定・問題解決力の育成、リーダーシップの育成といったことを経験する中で省察・行動・解決の実践に取り組み競技力向上に寄与する実践力の基礎を養います。さらに将来を見据えたキャリアマインド育成のために第一線で活躍しているスペシャリストの講話等から自らのキャリアを振り返りデザインできる力を養います。これら学ぶ領域や活動体験を生かし、競技スポーツのゼネラリストとしての基礎的能力を修得出来るようになります。						
総合到達目標	■自ら学び、考え、道を開く人間に求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身に付けるために、競技スポーツに関わる諸問題や課題を発見し、それに対する多面的な情報収集・分析を通して、省察・行動・解決していくことができる反省的实践力を養うことや、大学以降のキャリアをデザインし、社会人としての技能・態度を身に付ける。 ・大学で学ぶとはいかなることかを説明できる。（第2回～第7回）「知識・技能」 ・三軒茶屋キャンパスが所在する地域を理解して貢献することの意味を説明できる。（第8回～第9回）「知識・技能」 ・反省的实践の説明とその基礎的实践ができる。（第10回～第12回）「知識・技能」 ・自分のキャリアを説明・デザインすることができる。（第13回～第14回、第15回）「知識」						
成績評価方法	■リアクションノート<フォーム>14回（60%）：適用ルーブリックB1、M1、J2（評価の観点）授業内容を踏まえた問いに対して明確に述べられているかを評価します。（フィードバック方法）授業中に講評します。 ■レポート4回（40%）：適用ルーブリックF1、F2、I1、I3、J2（評価の観点）授業内容を踏まえて論理立てて明確に自分の考えを示せるかを評価します。（フィードバック方法）後日「添削」もしくは「出題意図の説明」を行います。ただし、本科目の評価はGPAには算入されません。						
履修条件	必ず初回授業<ライブ型>に出席してください。						
履修上の注意点	初回授業にて、授業の進め方や、受講ポリシー、成績評価の詳細などについて説明します。授業を円滑に進めるために、それらをよく理解した上で履修してください。不明な点は担当教員に連絡し理解してから履修してください。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>①授業テーマ スタートアップ ②授業概要 自主創造の基礎授業(担当教員、建学の精神、校歌、内容)及び、スポーツ科学部の履修登録とシラバスの説明ができるようになる（B1、F1）。 ③予習（60分） シラバスの内容をよく読み、授業内で扱う領域をラーニングガイド、学部要覧等を利用して調べる。 ④復習（60分） 授業資料を確認して、履修登録とシラバスとの関係について理解を深める。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>①授業テーマ 大学で学ぶとは① コミュニケーション ②授業概要 スポーツを通じたコミュニケーションができるようになる（A2、K2）。 ③予習（120分） スポーツにおいて、コミュニケーションがどのように機能し、どのような役割を果たしているかについて調べる。</td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ スタートアップ ②授業概要 自主創造の基礎授業(担当教員、建学の精神、校歌、内容)及び、スポーツ科学部の履修登録とシラバスの説明ができるようになる（B1、F1）。 ③予習（60分） シラバスの内容をよく読み、授業内で扱う領域をラーニングガイド、学部要覧等を利用して調べる。 ④復習（60分） 授業資料を確認して、履修登録とシラバスとの関係について理解を深める。	2	①授業テーマ 大学で学ぶとは① コミュニケーション ②授業概要 スポーツを通じたコミュニケーションができるようになる（A2、K2）。 ③予習（120分） スポーツにおいて、コミュニケーションがどのように機能し、どのような役割を果たしているかについて調べる。
回	内容						
1	①授業テーマ スタートアップ ②授業概要 自主創造の基礎授業(担当教員、建学の精神、校歌、内容)及び、スポーツ科学部の履修登録とシラバスの説明ができるようになる（B1、F1）。 ③予習（60分） シラバスの内容をよく読み、授業内で扱う領域をラーニングガイド、学部要覧等を利用して調べる。 ④復習（60分） 授業資料を確認して、履修登録とシラバスとの関係について理解を深める。						
2	①授業テーマ 大学で学ぶとは① コミュニケーション ②授業概要 スポーツを通じたコミュニケーションができるようになる（A2、K2）。 ③予習（120分） スポーツにおいて、コミュニケーションがどのように機能し、どのような役割を果たしているかについて調べる。						

	<p>④復習（120分） チーム力向上のためにはどのようなコミュニケーションが重要か自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。</p>
3	<p>①授業テーマ 大学で学ぶとは② ノートテイキング&amp;レポート  ②授業概要 授業形態と受講、ノート・レポート文書作成方法を学習（H1）し、ノートテイキング（K1）やレポートを書けるようになる（H2）。  ③予習（120分） ラーニングガイドの該当箇所やスタディスキルに関する文献を読み、不明な点は質問できるよう準備する。  ④復習（120分） 授業資料を確認し、ノートテイキングやレポート文書作成が出来るために重要な点をまとめる。</p>
4	<p>①授業テーマ 大学で学ぶとは③ プレゼンテーション  ②授業概要 プレゼンテーションの方法を学習し（H1）、初歩的なプレゼンテーションが出来るようになる（K1、K2）。  ③予習（120分） ラーニングガイドの該当箇所や関係する文献やwebサイト等を読み、不明な点は質問できるよう準備する。  ④復習（120分） 授業資料を確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。</p>
5	<p>①授業テーマ 大学で学ぶとは④ 反転授業  ②授業概要 反転授業（M1）。アスリートの運動能力は進化しているのか、運動能力進化の多側面について事前学習を行い（H1、H2）、能動的に学習することが出来るようになる（F2）。  ③予習（120分） あらかじめ設定された課題（VTR文献等）を視聴・通読し講義内容を理解する。  ④復習（120分） 予習とグループワークをとおして、予習行動の必要性や学修の実感を振り返る。</p>
6	<p>①授業テーマ 大学で学ぶとは⑤ 日本大学の歴史  ②授業概要 日本大学の歴史を担当講師の実務経験を踏まえ学習（F1）し、日本大学について説明出来るようになる（B1）。  ③予習（120分） ラーニングガイドの該当箇所を読み、日本大学の歴史を確認する。  ④復習（120分） 授業資料を確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。</p>
7	<p>①授業テーマ 大学で学ぶとは⑥ アスリート講話  ②授業概要 担当講師の実務経験を踏まえ一流アスリートの競技への取組み方を学習し、競技スポーツの諸問題に対する解決能力の修得について（F1）自分の考えを述べる事が出来るようになる（H2）。  ③予習（120分） 講演予定されているアスリートはどのような競技歴なのか、その背景などについてweb、文献等を用いて事前学習する。  ④復習（120分） 講演資料を確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。</p>
8	<p>①授業テーマ 地域貢献①  ②授業概要 世田谷区三軒茶屋の地域特性を学習し、清掃活動等を通じた社会貢献活動（C1）を行うことが出来るようになる（B1）。  ③予習（120分） 三軒茶屋の歴史、地域特性(伝統文化等)をweb、図書館等を利用して調べ不明な点は質問できるよう準備する。  ④復習（120分） 三軒茶屋キャンパスの地域特性・貢献活動を振り返り、スポーツ科学部生としての社会貢献を振り返る。</p>
9	<p>①授業テーマ 地域貢献②  ②授業概要 世田谷区下馬の地域特性を学習し、清掃活動等を通じた社会貢献活動（C1）を行うことが出来るようになる（B1）。  ③予習（120分） 下馬の歴史、地域特性(伝統文化等)をweb、図書館等を利用して調べ不明な点は質問できるよう準備する。  ④復習（120分） 三軒茶屋キャンパスの地域特性・貢献活動を振り返り、スポーツ科学部生としての社会貢献を振り返る。</p>
10	<p>①授業テーマ 反省的実践の基礎①  ②授業概要 目標設定について学習しその方法を身に付けることが出来るようになる（B1、F1、F2、I3）。  ③予習（120分） 目標の立て方に関する文献等を読み準備する。  ④復習（120分） 目標設定を行うポイントは何か自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。</p>
11	<p>①授業テーマ 反省的実践の基礎②  ②授業概要 PDCA（計画・実行・評価・改善）について学習しその方法を専門分野に取り入れることが出来るようになる（B1、F1、F2、I3）。</p>

	<p>③予習（120分） 目標設定とPDCAの関係について、図書館等を利用して調べ不明な点は質問できるよう準備する。</p> <p>④復習（120分） PDCAのポイントについて自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。</p>
12	<p>①授業テーマ 反省的実践の基礎③</p> <p>②授業概要 (グループワーク)フィードバックを学習し (I1)、課題解決に向けた方策を立てることが出来るようになる (I3)。</p> <p>③予習（120分） 即時フィードバックとは何か、図書館等を利用して調べ不明な点は質問できるよう準備する。</p> <p>④復習（120分） 即時フィードバックを用いた課題解決について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。</p>
13	<p>①授業テーマ キャリアデザイン①</p> <p>②授業概要 キャリアを形成することとはどのようなことなのか学習し (B1、C1)、受講者がそれについて説明出来るようになる (M1)。</p> <p>③予習（120分） キャリアとは何か図書館等を利用して調べ不明な点は質問できるよう準備する。</p> <p>④復習（120分） 授業資料を確認し、キャリア形成について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。</p>
14	<p>①授業テーマ キャリアデザイン②</p> <p>②授業概要 キャリアを形成することとはどのようなことなのか学習し (B1、C1)、受講者がそれについて説明出来るようになる (M1)。</p> <p>③予習（120分） キャリアとは何か図書館等を利用して調べ不明な点は質問できるよう準備する。</p> <p>④復習（120分） 授業資料を確認し、キャリア形成について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。</p>
15	<p>①授業テーマ 総括</p> <p>②授業概要 自分を省察し専門性やキャリアについてまとめ、キャリアデザインを行うことが出来るようになる (J2、M1)。</p> <p>③予習（120分） これまでの授業を振り返り、自らのキャリアをまとめる。</p> <p>④復習（120分） 授業総括および授業内レポートの内容を振り返り、自分の考えや専門性も含め再検証するとともに、今後の方針を考える。</p>
関連科目	自主創造の基礎 1 [RMGT/SSCS1215]
教科書	自主創造のためのLearning Guide (日本大学での学びの基本がわかる本)
参考書・参考URL	適時紹介します。
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先 開講時に通知します。</p> <p>■オフィスアワー 開講時に通知します。</p>
研究比率	

